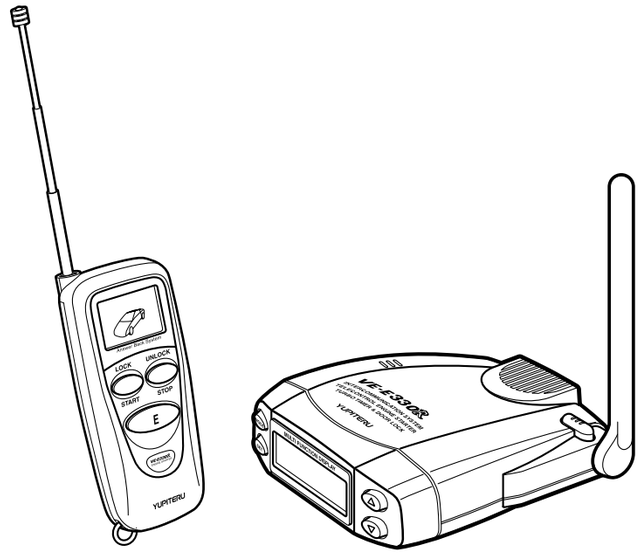
ユピテル工業株式会社
YUPITERU

“双方向”テレコントロールエンジンスターター

VE-E330R

取扱説明書 / 保証書



このたびは、ユピテルのテレコントロールエンジンスターターをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、お読みになられたあとも、いつでも見られる場所に大切に保管してください。
また本機は、電波法第四条「技術基準適合証明を受けた無線局」および電波法施行規則第六条「特定小電力無線局」に該当するテレコントロールシステムです。

警告

取り付けには、専門知識が必要です。
取り付けは、お買い上げの販売店、またはカーディーラーにご依頼ください。
お客様ご自身で取り付けられた場合の保証は受けられません。

■取り付け可能な車
- 適応する車種別専用ハーネスの設定がある車
- オートマチック(AT)車
- キーの操作だけでエンジンを始動できる車
- 12V車で、㊀アースの車

※上記の4つの条件を満たす車以外ではお使いいただけません。

- マニュアル(MT)車・外国車には取り付けできません。

目 次

はじめに
主な特長 ---------- 2
多彩なオプション ---------- 3
ご使用の前に(安全上のご注意) ---- 4
セット内容 ---------- 6
各部の名称 ---------- 7
基本接続図 ---------- 8
通信について ---------- 9
電池の入れかた(交換のしかた) ---- 9

操作する
エンジンを始動させる ---------- 10
エンジンを停止させる ---------- 11
エンジンの状態を確認する -------- 11
ドアをロック/アンロックする
(オプション対応) ---------- 12
車への乗車 ---------- 13
追加リモコンの登録 ---------- 14

設定する
車載通信ユニットで
見られる情報 ---------- 15
時計時刻を合わせる ---------- 15
車載通信ユニットの
各種機能の設定手順の概要 -------- 16
タイマーでエンジンをかける ----- 17
ターボタイマー機能 ---------- 19
エンジンスターターの設定 -------- 20
セル時間の設定 ---------- 20
アイドリング時間の設定 ---------- 20
グロー時間の設定 ---------- 21
エンジンスターター始動検出モードの設定 --- 21
エンジンスターターIG設定 ---------- 22
バックライトをON/OFFにする ---- 22
エンジンスターター特殊制御の設定 --- 23

その他
バッテリー交換や本機の
付け替え時の再設定について ----- 24
スリープ機能について ---------- 26
安全機能について ---------- 26
こんなときは ---------- 27
エラー表示について ---------- 28
仕様 ---------- 29
アフターサービスについて -------- 30
保証書 ---------- 裏表紙

主な特長

今度のスターターは液晶でかける。液晶でわかる。
リモコンも車載機もわかりやすい液晶表示。

■かける…

最新の通信技術により、他の電波による影響を低減。確実な信号伝達により、電波到達距離(直線見通し)最大3,000mを実現。アンサーバック信号も確実にリモコンに伝えます。

- 電波到達距離市街地／住宅地(見通し)
  ……約300～1,000m
- 妨害電波の少ない河川道路(見通し)
  ……2,000～3,000m (当社測定)

※電波の届く距離は、地形・建物などの条件で変化します。

■わかる…

リモコン、車載ユニットに液晶画面を搭載。エンジン始動でリモコンのタコメーターが動き、車載通信ユニットが残りのアイドリング時間をカウントダウン表示。(バックライト赤色)

リモコン

車の状態を液晶画面でわかりやすく表示。夜間などでもバックライト(橙色)の点灯・点滅により、視認性を確保。さらに、音階ブザーを鳴らし分けて通信とエンジンの始動を確実にお知らせします。

●エンジン始動指令時
……送信OK『♪ドレミファソ』、通信OK『♪ソファミレド』、
エンジン始動OK『♪ドレミファソファミレド』

●エンジン停止指令時
……送信OK『♪ドレミファソ』、停止指示OK『♪ソファミレド』

■ロングライフ

1日10回使用で約1年間使用できます。

車載通信ユニット

アイドリング時間、アフターアイドリング時間の残り時間を、赤いバックライトでカウントダウン表示。キーでのエンジン始動、走行中、またはキーがACC以上でバッテリー電圧・時刻・温度・走行時間のいずれか一つを選択表示できます。(バックライト緑色)

■タイマースタート機能

リモコン操作によるエンジンの始動に加え、設定した曜日の時刻に自動的にエンジンを始動しアイドリングを行うことができます。

■セル時間設定

車にあわせて、セルモータの始動時間を0.5～5秒の間で0.1秒単位の設定ができます。

■アイドリング時間設定

季節、気候にあわせてアイドリング時間を、5～30分の間で1分単位の設定ができます。

■グロー時間設定

ガソリン車、ディーゼル車を問わず、最適なエンジン始動を行えるように、グロー時間を1.0～10.0秒の間で1秒単位の設定ができます。

■ターボタイマー機能

走行時間にあわせてアフターアイドリング(30秒～3分)を自動的に行うことができます。
アフターアイドリング中にアイドリング時間を延長・短縮することもできます。

■カウントダウン表示

エンジンスターター始動後のアイドリング残時間と、ターボタイマー動作中のアフターアイドリング残時間を、カウントダウン表示します。

■2色バックライト表示

エンジンの状態に応じて、車載通信ユニットの液晶バックライトが2色に点灯します。
キーでのエンジン始動、走行中、またはエンジンキーがACCまたはONのときは緑色に点灯します。
カウントダウン(アイドリング・アフターアイドリング)表示中は赤色に点灯します。

※ エンジンキーがACCまたはONからOFF、またはエンジンスターター動作終了後1分間はバックライトが点灯します。
※ エンジンキーOFFの状態でも何らかのボタンを押すと、バックライトを1分間点灯し情報を表示できます。
※ バックライトはお好みによりON/OFFできます。

多彩なオプション

■キーレスエントリー
(別売のA-17SF：キーレスエントリーを接続した場合のみ)

本機リモコンでドアロック/アンロックができます。

※ 車種ごとにコントロールが異なるため、使用できない場合があります。また、別売のアダプターやドアロックハーネスが必要になる場合があります。

■ドア検出
(別売のA-60を使用して、ドアスイッチに接続した場合のみ)

エンジンスターター動作中ドアを開くと、エンジンが停止します。(アフターアイドリング中は機能しません)
また、ドアが開いた状態でドアロック操作をした場合、エラー信号が鳴り、ドアが開いていることをお知らせします。

■コンライトキャンセル機能
(別売のA-60を使用して、コンライト信号線に接続した場合のみ)

オートライト機能搭載車での使用時に、オートライト設定中でもアイドリング終了後にライトを消灯させバッテリーあがりを防ぎます。

※ 一部の車輌において、コンライトキャンセル機能が正常に働かない場合があります。

■ハザードアンサーバック機能
(別売のA-18SF：ハザード制御を接続した場合のみ)

別売 ハザード制御：A-18SFを接続し、本機リモコン操作でエンジンを始動すると、エンジン始動検出完了後(リモコン操作後最大20秒以内)にハザードランプを3回点滅してエンジンの始動をお知らせします。また、本機によるエンジン始動中にも、リモコン操作によりアイドリング状態の確認(3回点滅)ができます。
さらに、別売 キーレスエントリー：A-17SFまたは弊社オートキーレスシステム接続車は、リモコン操作またはオートキーレス機能によるドアロック/アンロック時に、ハザードランプを1回/2回点滅してドアの施錠・解錠をお知らせします。

■追加リモコン(別売：A-108E)

付属のリモコンのほかにもう一つリモコンを追加することができます。また、付属のリモコンが紛失または破損してしまった場合も追加リモコンをご使用いただけます。

※ 追加リモコンの登録時に付属のリモコンも登録する必要があります。付属のリモコンを登録しないと付属のリモコンはご使用になれません。

■無線イモビライザー
(別売のA-23SF：無線イモビライザーを接続した場合のみ)

本機リモコンでドアロック操作(別売 キーレスエントリーの接続がない場合でも、イモビライザー機能は動作します)をすると、約15秒後から、車のキーではエンジンをかけられないようにできます。
本機リモコンでドアアンロック操作をすると、無線イモビライザー機能は解除されます。
別売 キーレスエントリーを併用すると、本機リモコンでドアロック時にイモビライザー機能が働きます。

メモ

- 無線イモビライザー機能は、スリープ機能が働いた場合でも維持されます。
  ※スリープ機能が働いた状態(無線イモビライザーを取り付けている場合)からエンジンを始動するときはスリープ機能を解除(車のキーでドアを開け、エンジンキーをACCにした後、無線イモビライザー機能を解除(リモコン操作でドアアンロックにする)してください。
- イモビライザー機能設定中でも、エンジンスターターでエンジンを始動し、アイドリングをさせることができます。

■イモビ対応アダプター
(別売のイモビ対応アダプターを接続した場合のみ)

車輌純正のイモビライザー装着車に本機を取り付けるためのアダプターです。
本機取り付けにより、車輌のイモビライザー機能を損なうことはありません。

※ エンジンスターターでの始動を除いて、車輌純正のイモビライザー機能は正常に動作します。

■オートキーレスシステム
(別売の弊社オートキーレスシステムを接続した場合のみ)

オートキーレスシステムのリモコンを所持しているだけで、“車に近づくとアンロック”、“車から離れるとロック”を自動で行う、一歩進んだキーレスエントリーです。

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」、「注意」の2つに分けています。

⚠警告: 警告を無視した取り扱いをすると、使用者が死亡や重傷を負う可能性があります。

⚠注意: 注意を無視した取り扱いをすると、使用者が傷害や物的損害をこうむる可能性があります。

絵表示について

⚠ △ 記号は注意を促す内容であることを告げるものです。

⃠ ⃠ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。

❗ ● 記号は行為を強制したり、指示を告げるものです。

⚠警 告

❗ **シフトレバーは必ずパーキング(P)の位置で、パーキングブレーキをかけた状態で使用する**…思わぬ事故の原因になり大変危険です。

⃠ **車の近くに燃えやすいものがある場所では、使用しない**…発火の恐れがあります。

⃠ **車のボディカバーをかけたまま使用しない**…発火や排気ガスによる中毒の恐れがあります。

⃠ **お子様などを車に乗せたままでは、絶対に使用しない**…室内はキーでエンジンを始動した場合と同じ状態になり、大変危険です。

❗ **リモコンはお子様の手の届かない場所に保管する**…お子様が勝手にエンジンを始動させてしまい、事故の原因となります。

⃠ **換気の悪い車庫や屋内では、使用しない**…排気ガスによる中毒の恐れがあります。

⃠ **マフラーが雪で覆われるような降雪時には使用しない**…排気ガスが車内に充満して大変危険です。

❗ **必ずボンネットが閉まっている状態で使用する**…エンジン部の作業中にエンジンが始動すると、大変危険です。

⃠ **暖気運転の直後にエンジン点検などを行わない**…火傷をする恐れがあります。エンジン停止後、少なくとも5分以上経過した後、十分注意して行ってください。

⃠ **煙がでている、変な臭いがするなど、異常な状態のまま使用しない**…発火の恐れがあります。すぐに使用を中止して、販売店に修理を依頼してください。

❗ **万一、破損した場合は、すぐに使用を中止する**…そのまま使用すると火災や感電、事故の原因となります。

⃠ **サービスマン以外の人は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しない**…感電や故障の原因となります。内部の点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。

❗ **思わぬ事故を防ぐために、次のような場合は、必ず車載通信ユニットの電源スイッチを「OFF」にする**

⚠
- ボンネットを開けるとき
- 整備や車検などで車を第三者に預けるとき
- 本機の使用方法を理解されていないかたが運転するとき
- 長期間、車を使用しないとき
- 万一、リモコンを紛失したとき

❗ **走行するときは、いったん本機でエンジンを停止させ、必ずキーで再始動する**
本機でエンジンを始動させた状態では走行できません
エンジンが作動している状態でのキーの誤操作はセルの再飛び込みなど車を傷める危険があるばかりでなく、思わぬエンジンの停止や、ハンドルロック未解除のままの発進など、車の安全装置が働かないままで動き出すなどの事態をまねく危険性があります。

⃠ **エンジンスターター始動中はシフトロック解除機能等による通常の運行操作以外でシフト操作をしない**…エンジンスターターの安全機能が働かず、思わぬ事故につながる場合があります。

❗ **車輌の周囲の安全を十分に確認できる範囲で使用する**

⃠ **むやみに操作ボタンを押さない**…リモコンの電波は周辺環境により、思わぬ遠方まで届く場合があります

❗ **あらかじめ駐車時には以下のことを守る**

⚠
- ワイパー、ラジオ(オートアンテナ車の場合)を切ってください。エンジン始動を行ったときに動きだすので危険です。
  また凍結した場合、モーターが損傷する恐れがあります。
- 全ての窓を閉めてください。
- 全てのドアを施錠(ロック状態)してください。
- 坂道や傾斜地でご使用になるときや、冬期でパーキングブレーキを解除して使用するときは、必ず輪止めをしてください。

公道上で、エンジンをかけたまま車を放置することは、道路交通法違反となります。
必ず私有地で使用してください。

本機を取り付けたことによる、車輌や車載品の故障、事故等の付随的障害にについては、一切その責任を負いません。

ご注意 電波法に関して

■リモコン、車載通信ユニット裏面の技術基準適合証明ラベルをはがさないでください。はがして使用すると、電波法により罰せられることがあります。

■海外では使用しないでください。

■分解したり改造することは、電波法で禁止されています。改造して使用した場合は、電波法により罰せられることがあります。

ご注意 本機の機能について

■**コンライトキャンセル機能を配線していない場合**
オートライトコントロールシステムやコンライトシステム搭載車※で、夜間に本機を使用するときは、ライトスイッチを「OFF」にしておいてください。「AUTO」の状態で本機によりエンジン始動をした場合、ライトが点灯して、エンジンが停止したあとも消灯しません。

※暗くなると自動的にライトが点灯するシステム。エンジンが停止したあと、降車のためにドアを開閉することでライトが消灯します。

■他の無線機やテレビ、ラジオ、パソコンなどの近くで使用すると、影響を与えたり、受けたりすることがあります。

- カーナビゲーションや、ラジオ、オーディオなどを搭載した車では、バッテリーのマイナス端子をはずすと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子をはずす前に、必ずメモリー内容を控えてください。
- 市販のターボタイマーと併用することはできません。
- オートクルーズシステム搭載車や電動チルトステアリング・マイコンプリセットのドライビングポジションシステム装備車では、まれにこれらの機能が正常に動作しなくなることがあります。
- ワイヤレスドアロックシステムやキーレスエントリーシステム装備車では、エンジンが始動しているときドアのロック/アンロックができないことがあります。このようなときは、キーで操作してください。
- ターボタイマー機能は、ご使用になる車輌により、まれに正常に働かないことがあります。
- イグニッションキースイッチのバラツキが大きく、エンジンスターターで始動したときセルがホールドする車輌では使用できません。

ご注意 取り扱いについて

■リモコンを持ち歩くときには、落下などの衝撃を与えないでください。

■リモコンは簡易防滴構造ですが、濡れた手でさわったり、雨水などで濡れたりしないようにしてください。

■リモコンは、お子様の手の届かない場所に保管してください。

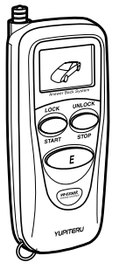
■リモコンを次のような場所に放置しないでください。
- 暖房器具の近くやダッシュボードの上など、温度の高くなる場所。
- 湿度の高い場所や、風通しの悪い場所。
- ホコリや油煙の多い場所。
- 非常に温度の低い場所。

■リモコンのアンテナに強い力がかかるような取り扱いはしないでください。

■リモコンが汚れたときは、柔らかい布でふいてください。ポリエステルなど静電気の起きやすいもの、またベンジンやシンナー、化学ぞうきん、洗剤は使用しないでください。

セット内容

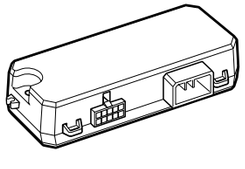
接続前に、セットの内容をお確かめください。



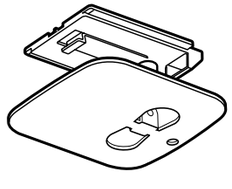
※リモコン用電池
CR2032(2)は
内蔵されています。

●リモコン(1)

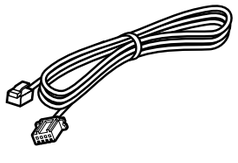
●車載通信ユニット（1）



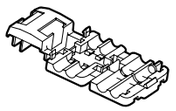
●ジャンクションユニット（1）



●ブラケットセット（1）

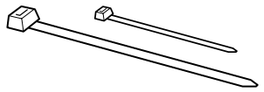


●車載機用ケーブル（1）

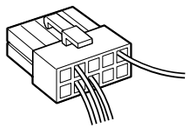


●エレクトロタップ（2）

●コードクリップ（2）



●タイラップ（大2、小1）



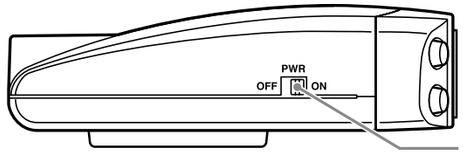
●センサーハーネス（1）

●ご注意ステッカーシート(1)

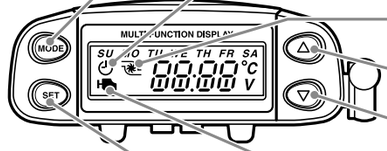
●取扱説明書・保証書（1）
●取り付け・接続説明書(1)

各部の名称

車載通信ユニット

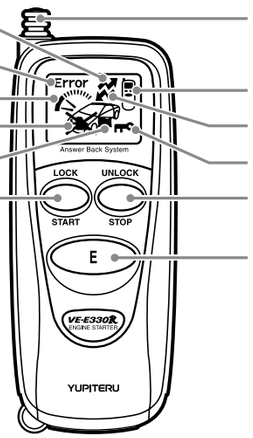


電源スイッチ



MODEボタン
タイマーマーク
ターボタイマーマーク
UPボタン
DOWNボタン
エンジンマーク
SETボタン

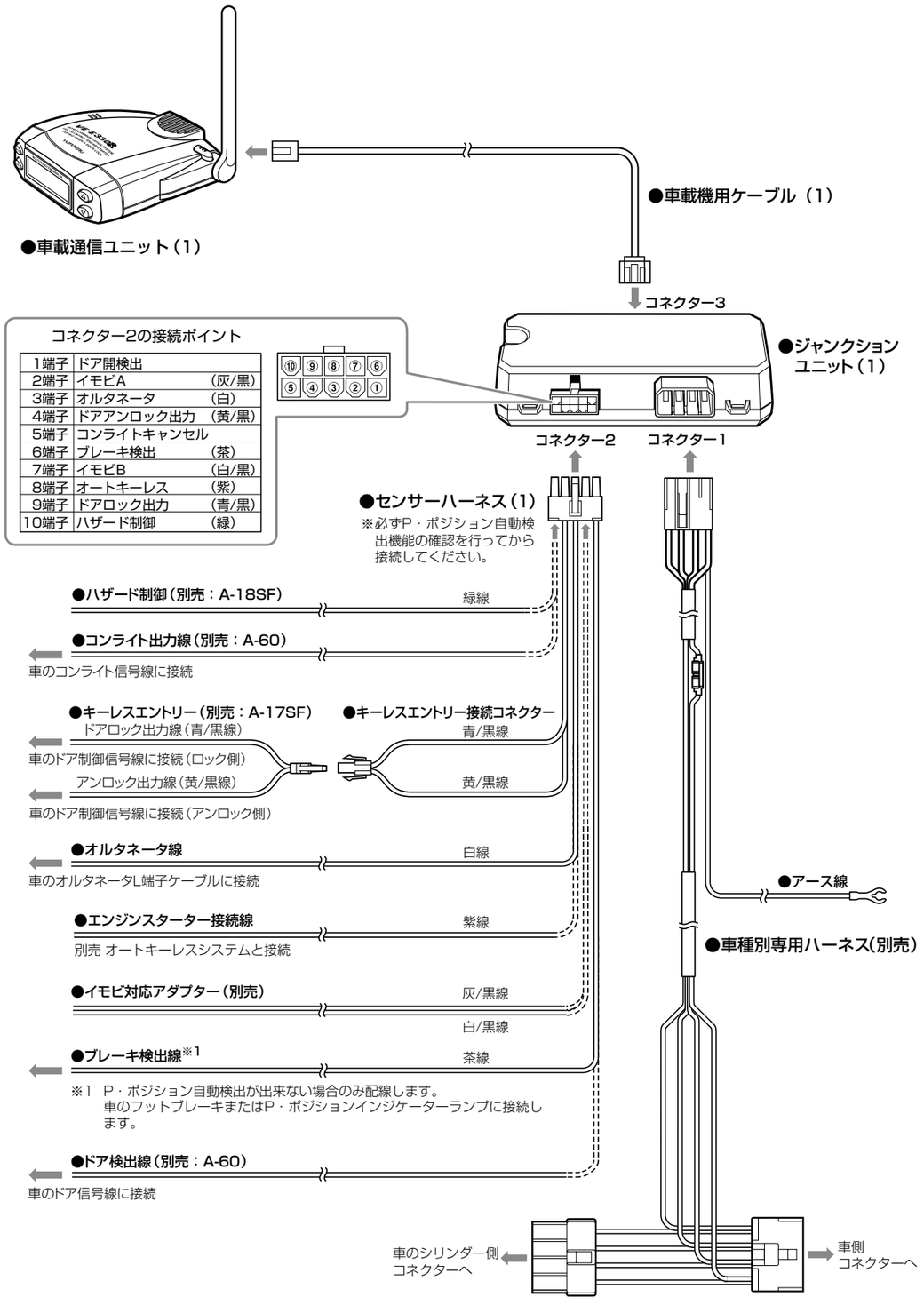
リモコン



受信マーク
エラーマーク
メーターマーク
エンジンエラーマーク
ドアマーク
START/LOCKボタン
アンテナ
リモコンマーク
送信マーク
カギマーク
STOP/UNLOCKボタン
E(エンジン)ボタン

※気温が0℃以下になると液晶表示が薄くなったり、表示されないことがありますが、エンジンの始動・停止等リモコン操作上は問題ありません。

基本接続図

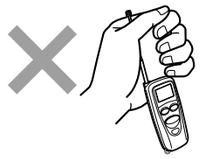


通信について

リモコンの上手な使いかた

リモコンを操作するときは、安定した通信距離を確保するために、次のことを守ってください。

■リモコンのアンテナを手で覆わないでください。
※通信距離が短くなります。



■アンサーバック信号を受信するまではアンテナを収納しないでください。
アンテナを収納すると、正常にアンサーバック信号を受信できません。
■リモコンのアンテナは完全に引き出し、垂直に立てて操作してください。
※ 斜めにして操作すると、通信距離が短くなることがあります。
※ チェーンやカギ、金属性アクセサリーなどにより通信エラーを発生する場合があります。

車載通信ユニットの取り付け

車載通信ユニットは、ダッシュボードに、付属のブラケットセットを使用して、運転者の視界を妨げないように取り付けてください。

ご注意

アンテナの近くに金属(ピラー)などがあると、通信距離が短くなります。
金属部より5cm以上離れた場所に取り付けてください。

メモ

車通信距離を広げたい場合は、車載通信ユニットを車の高い位置に設置して、アンテナを地面に対してできるだけ垂直に立ててください。(アンテナが車体に触れないようにしてください)
また、アンテナとリモコンの間に障害物ができるだけ少なくなるような方向に車を停車してください。

電池の入れかた(交換のしかた)

本機リモコンには工場出荷時、電池を装着してありますが、この電池はモニター用の電池で記載された電池寿命より短い期間で切れることがあります。電池を交換する場合は右記手順で電池を交換してください。
なお、電池交換中のエンジン始動を防ぐため、車に取り付けられている車載通信ユニットの電源スイッチをOFFにしてから行ってください。使用するときは、電源スイッチをONにします。

電池の交換時期について

リモコン操作できる距離が短くなったら、電池寿命です。早めに新しい電池と交換してください。

電池寿命の目安

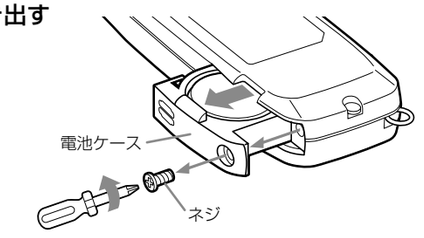
約1年を目安に新しい電池(CR2032　2個)と交換してください。

※ 電池の寿命は使用する条件によって異なります。
※ 指定の電池(CR2032)以外は使用しないでください。
※ 交換するときは、必ず2つとも新しい電池と取り替えてください。
また、交換時には電池の向きを間違えないようご注意ください。

⚠警 告

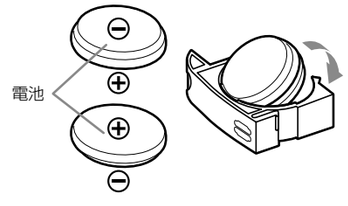
使用済みの電池は、火中に投げ入れないでください。爆発して、火災・やけどの原因となることがあります。また、事故防止のため、リモコンの電池は幼児の手の届かないところに保管してください。万一お子様が飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

1 リモコン側面のネジをはずし、電池ケースを引き出す



※ ネジ、部品の紛失に注意してください。また、ネジの大きさに合ったドライバーを使用してください。ネジのつぶれの原因となります。

2 電池の⊕側どうしを合わせて電池ホルダーにセットする



※ 電池ケースのネジ以外は触れないでください。
本機を分解したり改造することは、電波法で禁止されています。

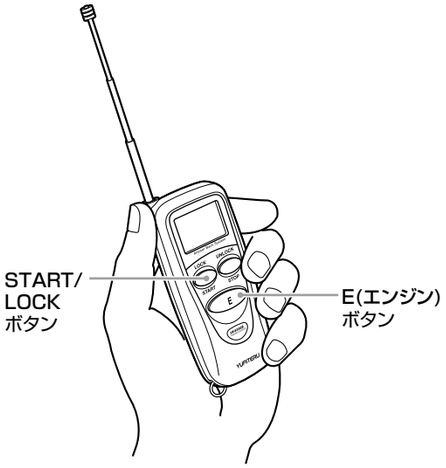
3 電池ケースを戻し、ネジを閉める

エンジンを始動させる

※ 車に取り付けている車載通信ユニットの電源スイッチがONになっていることを確認してください。

リモコンを操作するときは

- アンテナを十分に伸ばしてください。
- アンテナに手などを触れると、通信距離が短くなります。
- アンテナを収納していると、車載通信ユニットからの信号を受信できません。



● 信号を受信できないと

車載通信ユニットからの信号を受信できないと受信マークとエラーマークが約2秒間点滅し、『ピー』と鳴ります。
もう一度、最初からリモコン操作を行ってください。

メモ

車のバッテリーの性能が低下しているときは、エンジンキーで始動させる場合に比べ、本機でのエンジン始動ができにくくなります。

● エンジンが始動できないと

『ピーピピピッ』の音が鳴り、受信マーク、エラーマーク、エンジンエラーマークが約2秒間点灯します。(バックライト点滅)
このようなときはもう一度、最初からリモコン操作を行ってください。

車載通信ユニットに起動エラー「Exxx」(28ページ参照)を表示します。(停止後1分間)

※ 停止して1分以上経過すると表示は一時消えますがACCで再度表示します。

エンジンが始動しない、始動してもすぐに停止してしまう場合は、「エラー表示について」(28ページ)をご覧になり原因の解決を行ってください。

⚠警 告

車輌の周囲の安全を十分に確認できる範囲で使用してください。リモコンの電波は、周辺環境など、条件の良いところでは遠方(3km以上)まで届くことがあります。

リモコンの操作

1 E(エンジン)ボタンを押す

リモコンマークが点灯します。

2 リモコンマークが点灯中(約3秒間)に、『ドレミファソ』が鳴るまでSTART/LOCKボタンを押す

送信マークが約2秒間点灯します。(バックライト点灯)

車載通信ユニットが信号を認識すると、リモコンに信号を送り返します。

車載通信ユニットからの信号を受信すると

『ソファミレド』と鳴り、受信マークが約2秒間点灯します。(バックライト消灯)

※ 電波状態によって送受信がすぐに行われる場合があります。その場合、『ドレミファソ』、『ソファミレド』が連続して聞こえることがあります。

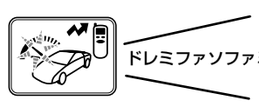
設定されたグロー時間後にエンジンの始動を行います。

エンジンが始動すると

20秒以内に始動確認の信号をリモコンに送ります。

車載通信ユニットからの信号を受信すると

『ドレミファソファミレド』と鳴り、受信マークとメーターマークが約2秒間の点灯中にメーターマークの針が点滅して、エンジンの始動をお知らせします。(バックライト点灯)



別売のハザード制御：A-18SFを接続していると、ハザードランプが3回点滅して、エンジンの始動をお知らせします。

エンジンが始動すると、車載通信ユニットのディスプレイにアイドリング時間をカウントダウン表示します。
また、アイドリング中は『ピッピッピッ』と車載通信ユニットから連続して鳴り、エンジンスターターでエンジンを始動していることをお知らせします。

「バックライトの設定」(22ページ)がONになっているときは、アイドリング中車載通信ユニットのディスプレイが赤色に点灯します。

エンジンを停止させる

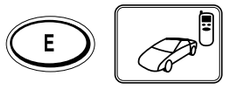
※ 車に取り付けている車載通信ユニットの電源スイッチがONになっていることを確認してください。

● 信号を受信できないと

車載通信ユニットからの信号を受信できないと受信マークとエラーマークが約2秒間点滅し、『ピー』と鳴ります。
もう一度、最初からリモコン操作を行ってください。

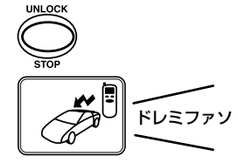
リモコンの操作

1 E(エンジン)ボタンを押す



リモコンマークが点灯します。

2 リモコンマークが点灯中(約3秒間)に、『ドレミファソ』が鳴るまでSTOP/UNLOCKボタンを押す



送信マークが約2秒間点灯します。(バックライト点灯)

車載通信ユニットが信号を認識すると、リモコンに信号を送り返します。

車載通信ユニットからの信号を受信すると

『ソファミレド』と鳴り、受信マークとメーターマークが約2秒間点灯します。

エンジンを停止させます。

エンジンの状態を確認する

※ 車に取り付けている車載通信ユニットの電源スイッチがONになっていることを確認してください。

● 信号を受信できないと

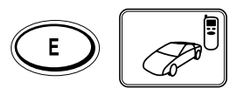
車載通信ユニットからの信号を受信できないと受信マークとエラーマークが約2秒間点滅し、『ピー』と鳴ります。
もう一度、最初からリモコン操作を行ってください。

● エンジンが停止中は

受信マークが約2秒間点灯中エンジンエラーマークが点滅して『ピーピピピッ』と鳴ります。(バックライト点滅)
※キーでエンジンを始動している場合は確認できません。

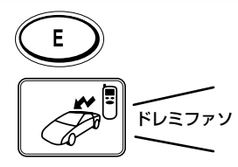
リモコンの操作

1 E(エンジン)ボタンを押す



リモコンマークが点灯します。

2 リモコンマークが点灯中(約3秒間)に、『ドレミファソ』が鳴るまでもう1度E(エンジン)ボタンを押す

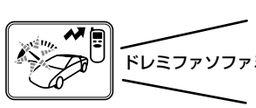


送信マークが約2秒間点灯します。(バックライト点灯)

車載通信ユニットが信号を認識すると、リモコンに信号を送り返します。

車載通信ユニットからの信号を受信すると

エンジンがアイドリング中は『ドレミファソファミレド』と鳴り、受信マークとメーターマークが約2秒間の点灯中にメーターマークの針が点滅して、エンジンの始動をお知らせします。



別売のハザード制御：A-18SFを接続していると、ハザードランプが3回点滅して、エンジンの始動をお知らせします。

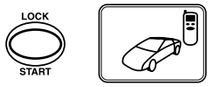
ドアをロック/アンロックする(オプション対応)

※車に取り付けている車載通信ユニットの電源スイッチがONになっていることを確認してください。

※別売のキーレスエントリー：A-17SFの接続が必要です。

ドアのロック(施錠)操作

1 START/LOCKボタンを押す



リモコンマークが点灯します。

2 リモコンマークが点灯中(約３秒間)に、『ドレミファソ』が鳴るまでもう１度START/LOCKボタンを押す

送信マークが約２秒間点灯します。(バックライト点灯)

車載通信ユニットが信号を認識すると、リモコンに信号を送り返します。

車載通信ユニットからの信号を受信すると

受信マークとカギマークが約2秒間点灯してドアのロック(施錠)をお知らせします。

ドアがロック(施錠)されます。

ドアのアンロック(解錠)操作

1 STOP/UNLOCKボタンを押す

リモコンマークが点灯します。

2 リモコンマークが点灯中(約3秒間)に、『ドレミファソ』が鳴るまでもう１度STOP/UNLOCKボタンを押す

送信マークが約２秒間点灯します。(バックライト点灯)

車載通信ユニットが信号を認識すると、リモコンに信号を送り返します。

車載通信ユニットからの信号を受信すると

受信マーク、カギマーク、ドアマークが約2秒間点灯してドアのアンロック(解錠)をお知らせします。

ドアがアンロック(解錠)されます。

メモ

ハザード制御線(別売A-18SF)を接続すると、施錠と同時にハザードランプを1回点滅させることができます。
また、ドア検出線(別売：A-60)を接続して、ドアが開いている状態でドアロック操作を行うと、受信マークとエラーマークが点滅し、『ピー』と鳴ります。ドアが完全に閉まっているか確認してください。

メモ

ハザード制御線(別売A-18SF)を接続すると、解錠と同時にハザードランプを2回点滅させることができます。

●信号を受信できないと

車載通信ユニットからの信号を受信できないと受信マークとエラーマークが約2秒間点滅し、『ピー』と鳴ります。
もう一度、最初からリモコン操作を行ってください。

メモ

- 本機でエンジンを始動した場合や、本機のターボタイマー機能によりアイドリングしている間でもドアロック/アンロックの操作はできますが、キーでエンジンを始動したときは、ドアロック/アンロック機能は働きません。
- 本機でエンジンの始動を行った場合、始動確認信号の受信まではドアロック/アンロック機能が正常に働かないことがあります。

⚠注 意

- 車のバッテリー上がり、本機リモコンの電池切れ、または故障などの場合、リモコンでドアを開けることができなくなります。車のキーは必ず携帯してください。
- 本機のリモコンは、ダブルアクション操作により誤作動を防止していますが、純正キーレスエントリーシステムに比べ電波到達距離が長いので、リモコン操作には十分に注意してください。
- 本機は、オートリロック機能※を搭載していませんので、リモコンでドアロックした場合は、ドアのロック状態の確認をお願いします。
  ※ドアアンロック後、ドアを開けない場合、自動的にドアロック(リロック)する機能

車への乗車

本機でエンジン始動した状態では、走行できません。走行するときは、いったんエンジンを停止させた後、必ずキー操作でエンジン始動してください。

車を発車させる

1 リモコン操作でエンジンを停止させる

※別売ドア検出線を取り付けている場合は、運転席ドアを開けると、エンジンが停止します。

2 キーでエンジンを始動させる

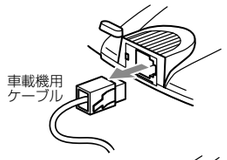
追加リモコンの登録

別売の追加リモコン：A-108Eを登録する場合、付属のリモコンも登録する必要があります。

※付属のリモコンのみでご使用の場合は、登録の必要はありません。

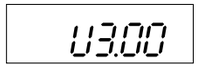
※操作を誤った場合は、車載機用ケーブルを外し、再度手順**2**から操作を行ってください。

1 **車載通信ユニットに接続している車載機用ケーブルを外す**



2 **車載通信ユニットのMODEボタンを押しながら、車載機用ケーブルを接続する**

車載通信ユニットのディスプレイに"U3.※※"（※※：2桁の数字）と表示されます。



3 **▽ボタンを押す**

ディスプレイ表示が"Id"になります。

4 **MODEボタンを押す**

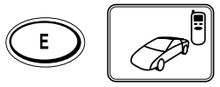
ディスプレイ表示が"Idtx"になります。

5 **▽ボタンを押す**

ディスプレイ表示が"IdWR"になります。

6 **"IdWR"を表示中に、付属のリモコンのE(エンジン)ボタンを押す**

リモコンマークが点灯します。



7 **リモコンマークが点灯中にSTOP/UNLOCKボタンを押す**

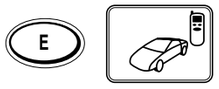
車載通信ユニットから『ピッ』と鳴った後、『ピー』と鳴り、"Idok"と表示され、その5秒後に"IdWR"と表示されます。

※リモコンの受信マーク、エンジンマークが点滅しますがエラーではありません。

※リモコンの紛失や故障などで追加リモコンだけを登録してご使用する場合は、車載通信ユニットから車載機用ケーブルを1度外し、接続し直してください。登録操作は完了です。

8 **"IdWR"を表示中に、追加のリモコンのE(エンジン)ボタンを押す**

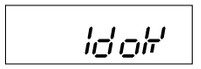
リモコンマークが点灯します。



9 **リモコンマークが点灯中にSTOP/UNLOCKボタンを押す**

車載通信ユニットから『ピピッ』と鳴った後、『ピピー』と鳴り、"Idok"と表示されます。

※リモコンの受信マーク、エンジンマークが点滅しますがエラーではありません。



10 **車載通信ユニットから車載機用ケーブルを1度外し、接続し直す**

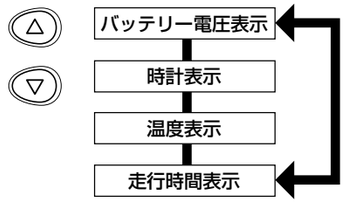
車載通信ユニットで見られる情報

車載通信ユニットは、次の情報を表示することができます。

表示を変える

▲▼ボタンを押すたびにディスプレイ表示が次のように変わります。

エンジンキーをACCからOFFにしたときは1分間操作がないと表示が消えます。



※ エンジンキーがOFF時でも何らかのキーを押すと情報を表示できます。

※ エンジンキーがACC時の表示は16ページを参照してください。

バッテリー電圧表示	車のバッテリー電圧を表示します。（0.1V単位）	12.1 V
時計表示	時計時刻を表示します。 時刻の設定について詳しくは、下記の「時計時刻を合わせる」をご覧ください。本機の時計時刻表示は1カ月に3分程度ずれることがあります。時計時刻を合わせてからご使用ください。	7:00
温度表示	温度を表示します。（1℃単位） 本機の温度表示は車載通信ユニット設置付近の温度を測定しているため、直射日光ならびに車載通信ユニット内部の温度、冷暖房吹き出し口からの影響などを受けます。また走行中、アイドリング中の車内温度は測定場所により大きく異なります。このため、表示温度と実際の車内温度とは差が生じます。	23℃
走行時間表示	車の走行時間を表示します。（60分までは1秒単位、60分以上は1分単位） 走行時間はエンジンキーがONからの時間をカウントします。	3:00

※ 車載通信ユニットで表示される値は目安としての値です。車に装備されている機器の値と異なる場合があります。

時計時刻を合わせる

時計時刻設定

現在時刻を設定します。

1 **▲▼ボタンを押して、時計表示にする**

":"が点滅します。

2 **MODEボタンを押す**

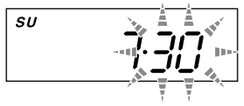
"時"が点滅します。

3 **▲▼ボタンを押して、時を設定する**

※24時間表示

4 **MODEボタンを押す**

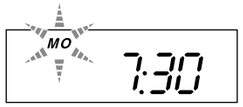
"分"が点滅します。



5 **▲▼ボタンを押して、分を設定する**

6 **MODEボタンを押す**

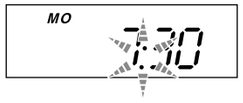
"曜日"が点滅します。



7 **▲▼ボタンを押して、曜日を設定する**

8 **SETボタンを押す**

『ピー』と鳴ってセット完了です。
時計表示になります。



ご注意

本機の時計時刻表示は1カ月に3分程度ずれることがあります。時計時刻を合わせてからご使用ください。

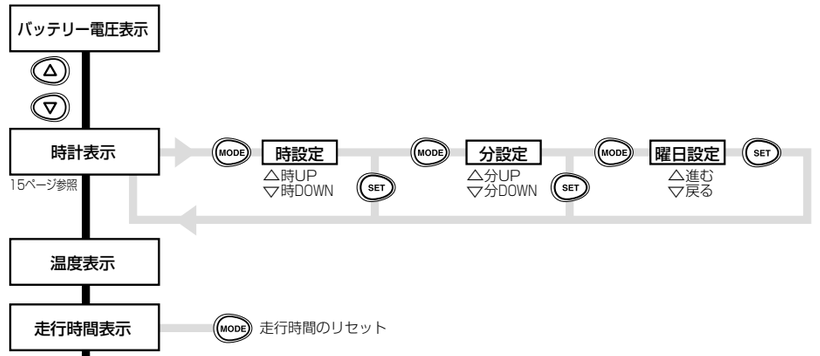
車載通信ユニットの各種機能の設定手順の概要

※安全のためエンジンを停止させた状態で操作してください。

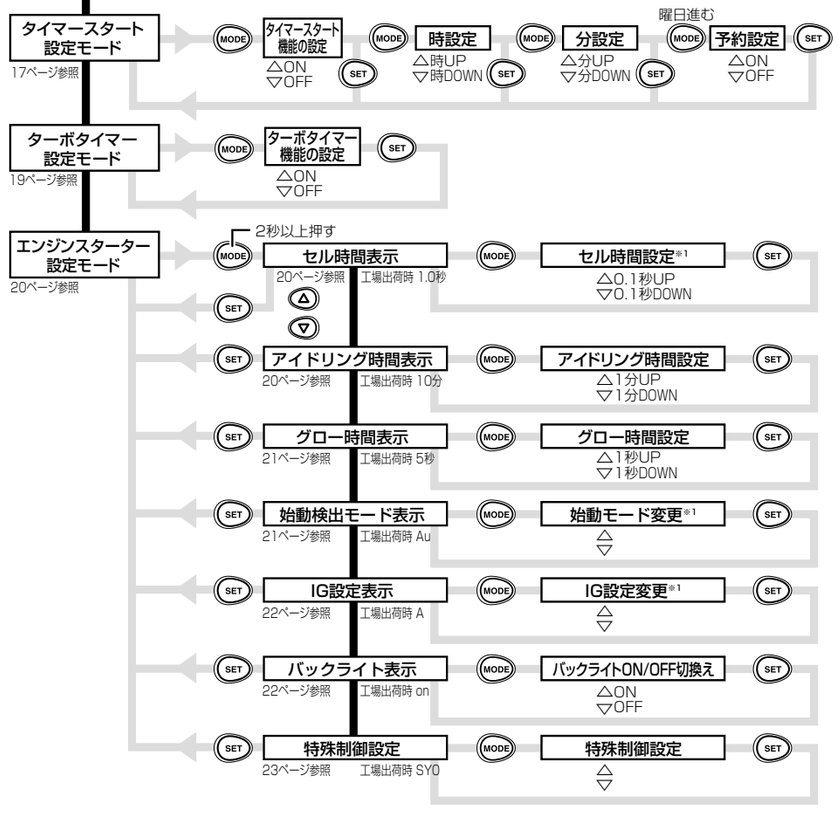
エンジンキーがOFFまたはACCで行える設定

メモ

- ▬ ： △▽ボタンで切り替わる表示
- ▬ ： MODEボタンで切り替わる表示
- △▽： △▽ボタンで切り替わる設定



エンジンキーがACCで行える設定



タイマースタート設定モード
タイマースタート機能の設定と予約設定ができます。

ターボタイマー設定モード
ターボタイマー機能を設定できます。

エンジンスターター設定モード
ターボタイマー機能を設定できます。
エンジンスターターの機能を設定できます。

- セル時間表示/設定※1
- アイドリング時間表示/設定
- グロー時間表示/設定※1
- 始動モード表示/変更※1
- IG設定表示/変更※1
- バックライトON/OFF切換え
- 特殊設定※1

メモ

走行時間は、エンジンキーがONからの時間をカウントしています。そのため、実際の走行時間と異なる場合があります。

※1 通常は設定する必要はありません。設定には専門知識が必要です。

タイマーでエンジンをかける

次ページに続く

タイマースタート機能の設定と予約設定

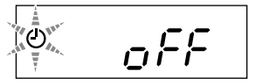
タイマースタート機能を使用するには、あらかじめ以下の設定が必要です。

※ タイマースタート機能設定を行う前には、あらかじめ「時計時刻設定」(15ページ)が必要です。
※ 予約設定ができる時刻は一時刻となります。

1 エンジンキーをACCにする

2 △▽ボタンを押して、「タイマースタート設定モード」にする

"タイマーマーク"が点滅し"OFF"を表示します。
すでに時間が設定されている場合は"タイマーマーク"が点滅し、曜日と時間を表示します。



3 MODEボタンを押す

△▽を押してタイマースタート機能を「使用する"ON"/使用しない"OFF"」に設定します。(タイマースタート機能の設定)

4 続いて予約設定を行います　もう1度、MODEボタンを押す

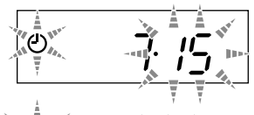
"時"が点滅します。

5 △▽ボタンを押して、時を設定する

6 MODEボタンを押す

"分"が点滅します。

7 △▽ボタンを押して、分を設定する

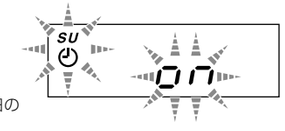


8 MODEボタンを押して予約曜日を選択する

"SU"が点滅します。MODEボタンを押すたびに曜日が替わります。

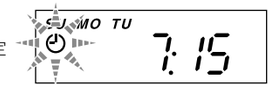
9 △ボタンを押して、予約設定する

△で"ON"　：予約する
▽で"OFF"　　：予約しない
他の曜日を設定する場合は手順8に戻って曜日の予約設定を行います。



10 SETボタンを押す

『ピー』と鳴ってタイマースタート機能の設定と予約設定は完了です。
予約設定された曜日と時刻が表示されます。



11 エンジンキーをOFFにする

予約設定した内容でエンジンの始動を行う場合はスタート予約(18ページ)を行ってください。

メモ

時刻設定されても、手順**9**ですべての曜日が"OFF"(予約しない)の場合にはスタート予約できません。

スタート予約する

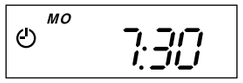
予約設定した曜日の時刻(17ページ)に自動でエンジンを始動しアイドリングを行います。

- スタート予約操作から最も近い曜日の時刻に自動でエンジンの始動を行います。

※1回のスタート予約(SET)で1回のエンジン始動となります。
スタート予約時刻にエンジンが始動している場合(何らかの不具合によってエンジンが始動しない場合も含む)は再度スタート予約が必要です。

- リモコンに対して始動信号は発信しません。

1 **SETボタンを押す**
スタート予約をするとタイマーマークと次回タイマースタート曜日、時刻を約5秒間点灯します。
スタート予約が完了しました。



※ エンジンスターターアイドリング中や各機能の設定モード中ではスタート予約できません。

スタート予約を取り消すときは

タイマーマークが点灯している状態でSETボタンを押すと予約の取り消しができます。"タイマーマーク"が消灯します。

※ エンジンスターターアイドリング中や各機能の設定モードではスタート予約の取り消しはできません。
※ タイマーマークが点灯していない場合はスタート予約がされていません。

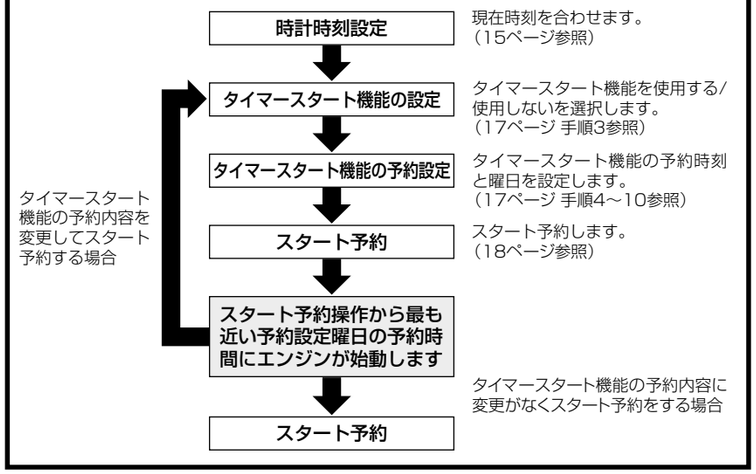
スタート予約を変更するときは

17ページの「タイマースタート機能の設定と予約設定」の手順に従い、手順***4***、***5***で"時"の変更、手順***6***、***7***で"分"の変更、手順***8***、***9***で"曜日"の変更をした後、手順***10***の操作を行います。

⚠警 告

整備や車検などで車を第三者に預けるときは必ず車載通信ユニットの電源をOFFにしてください。タイマースタート予約をしていると車検や整備中など思わぬときにエンジンが始動してしまうことがあります。

タイマースタート予約とエンジン始動の関係



例)月曜から金曜日の8：00にタイマースタート予約の設定(17ページ)をした場合には

	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
予約曜日(17ページ、手順8)	Su	Mo	Tu	We	Th	Fr	Sa	Su	Mo	Tu	We	Th	Fr	Sa
予約設定(17ページ、手順9)	off	on	on	on	on	on	off	off	on	on	on	on	on	off
日曜日に予約すると	予約	スタート	火曜日にはエンジンスタートしません						翌週の月曜にはエンジンスタートしません					
金曜日の8時以降に予約すると						予約			8:00スタート					
水曜日の8時以降に予約すると				予約	8:00スタート									

ターボタイマー機能

ターボタイマー機能とは

走行後のアフターアイドリングを自動的に行う機能です。なお、本機はこのターボタイマー機能を使う(ON)使わない(OFF)を設定できます。アフターアイドリングの時間はオート方式です。

■ターボタイマー機能ON時の動作について

ターボエンジン搭載車は、走行後、すぐにエンジンを停止させると、タービンシャフト部の焼き付きを起こす場合があります。ターボタイマー機能はパーキング(P)またはニュートラル(N)にシフトチェンジされると動作し始め、キーを抜いた後も、アフターアイドリングを自動的に行い、エンジンを徐々に冷ましたあと、エンジンを停止させます。

※ キーでエンジン始動後、シフトレバーがパーキング(P)またはニュートラル(N)以外のポジションに1秒以上移動した場合にターボタイマー機能は動作します。
また、ターボタイマー機能は、シフトレバーがパーキング(P)またはニュートラル(N)の位置でないと動作しません。(P・ポジション自動検出)
ただし、P・ポジション自動検出ができない車輌でP・ポジションインジケーターランプに接続している場合は、シフトレバーがパーキング(P)の位置のときだけ動作します。シフトポジションを移動したときには動作を停止します。

■オート方式のアフターアイドリング時間

走行時間に合わせて、アフターアイドリングの時間が自動的に設定されます。

走行時間	アフターアイドリング時間
0分間～10分間	約30秒間
10分間～30分間	約1分間
30分間～1時間	約1分30秒
1時間～2時間	約2分間
2時間以上	約3分間

※ アフターアイドリング中に△▽ボタンでカウントダウン表示が1分未満のときは10秒単位、1分以上のときは30秒単位の増減ができます。
※ 走行時間はエンジンキーONからの時間をカウントしています。

■アフターアイドリング時間の表示について

アフターアイドリングの残り時間は、車載通信ユニットのディスプレイにカウントダウン表示します。

⚠注 意

ご使用になる車種により、まれに正常に働かないことがあります。このようなときは、ターボタイマー機能の設定を「OFF」にしてご使用ください。

※ カーラジオのON/OFFに連動してアンテナが昇降する車では、ターボタイマーが働いてエンジンが停止しても、アンテナが降りないことがあります。

ターボタイマー機能のON/OFF設定

以下の操作をすることで、ターボタイマー機能のON/OFF設定ができます。

※ 本機取り付け時ON/OFFのいずれかに設定されていますので、必要がある場合に再度設定・変更を行ってください。

⚠注 意

車を離れるときは必ず鍵をかけ、キーを携帯してください。車によってはエンジン始動中またはキーが差し込まれている状態でリモコンによるドアのアンロック(解錠)ができないことがあります。

メモ

- アフターアイドリング中に、△▽ボタンを押すことでカウントダウン表示が1分未満のときは10秒単位、1分以上のときは30秒単位の増減ができます。(ディスプレイのカウントダウン表示が増減します)
- アフターアイドリング中にリモコンでのエンジン停止の操作、またはシフトチェンジを行うと、エンジンは停止します。
- アフターアイドリングが必要ないときは、車載通信ユニットの電源スイッチを「OFF」にしてエンジンを停止させてください。(アフターアイドリングを行いません) また、エンジン停止後は電源スイッチを「ON」にしてください。(「OFF」のままでは、本機でエンジンを始動できません)
- ターボタイマーのカウントダウンはシフトレバーがパーキング(P)に入ったときから開始されますが、車載通信ユニットの表示は、ACC(アクセサリー電源)OFFでカウントダウン表示に替わります。そのためカウントダウン表示開始時の表示時間と上記の「オート方式のアフターアイドリング時間」は異なります。
- キーをOFFにしてからパーキング(P)にシフトチェンジした場合、ターボタイマー機能は働きません。

1 **エンジンキーをACCにする**

2 **△▽ボタンを押して、「ターボタイマー設定モード」の表示にする**
"ターボタイマーマーク"が点滅します。

3 **MODEボタンを押す**
「ターボタイマー機能の設定」になり、現在の設定内容が点滅します。
ターボタイマー機能を使わない場合は▽ボタンを押します。
"OFF"が点滅します。

4 **ターボタイマー機能を使う場合は、△ボタンを押す**
"ON"が点滅し、"ターボタイマーマーク"が点滅します。

5 **SETボタンを押す**
『ピー』と鳴ってセット完了です。
続けて他の設定を行う場合は△▽ボタンで選択します。

6 **エンジンキーをOFFにする**

エンジンスターターの設定

次ページに続く

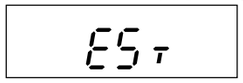
セル時間の設定(設定には専門知識が必要です)

車にあった、セル時間(0.5秒～5秒の間で、0.1秒単位)を設定できます。セルモータのひきずりがある場合にはセル時間を短めに、エンジンが始動しにくい場合には長めに設定してください。設定には十分ご注意ください。

※工場出荷時は1.0秒に設定されています。
※ オルタネータ線(白線)を接続している場合、セル時間内にエンジンの始動検出ができると、セルモータを停止します。

1 エンジンキーをACCにする

2 △▽ボタンを押して、"EST"を表示させる
「エンジンスターター設定モード」になります。



3 MODEボタンを、2秒以上押す
"m"が点滅し、現在のセル時間が表示されます。

4 MODEボタンを押す
セル時間が点滅します。

5 △▽ボタンを押して、セル時間を設定する
0.5～5秒の間で0.1秒単位の設定ができます。

6 SETボタンを押す
『ピー』と鳴ってセット完了です。
"m"が点滅し、「セル時間表示」に戻ります。

7 再度SETボタンを押すと"EST"を表示となり「エンジンスターター設定モード」に戻る
続けて他の設定を行う場合は、MODEボタンを2秒以上押してから△▽ボタンで選択します。

8 エンジンキーをOFFにする

アイドリング時間の設定

エンジンスターターで始動した場合のアイドリング時間(5分～30分の間で、1分単位)を設定できます。

※工場出荷時は10分に設定されています。

1 エンジンキーをACCにする

2 △▽ボタンを押して"EST"を表示させる
「エンジンスターター設定モード」になります。

3 MODEボタンを、2秒以上押す
"m"が点滅し、「セル時間表示」になります。

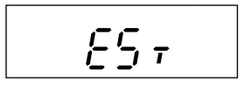
4 ▽ボタンを押す
"Id"が点滅し、現在のアイドリング時間が表示されます。

5 MODEボタンを押す
アイドリング時間(分)が点滅します。

6 △▽ボタンを押して、時間を設定する
5～30分の間で1分単位の設定ができます。

7 SETボタンを押す
『ピー』と鳴ってセット完了です。
"Id"が点滅し、「アイドリング時間表示」に戻ります。

8 再度SETボタンを押すと"EST"表示となり「エンジンスターター設定モード」に戻る
続けて他の設定を行う場合は、MODEボタンを2秒以上押してから△▽ボタンで選択します。



9 エンジンキーをOFFにする

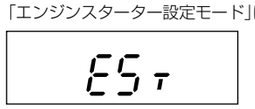
グロー時間の設定

一部のディーゼル車などで、5秒以上のグロー時間を必要とする場合は設定してください。リモコン始動などで問題がない場合は、設定を変更しないでください。設定を変更すると、始動の確認ができずにエンジンが停止してしまう場合があります。

※工場出荷時は5秒に設定されています。
※グロー時間を6秒以上に設定した場合は、オルタネータ線の接続が必要です。

1 エンジンキーをACCにする

2 △▽ボタンを押して、"EST"を表示させる
「エンジンスターター設定モード」になります。



3 MODEボタンを、2秒以上押す
"m"が点滅し、「セル時間表示」になります。

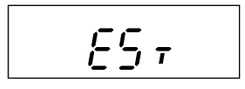
4 ▽ボタンを2回押す
"Gw"が点滅し現在のグロー時間が表示されます。

5 MODEボタンを押す
グロー時間が点滅します。

6 △▽ボタンを押して、グロー時間を設定する
(1秒～10秒の間で1秒単位の設定ができます)

7 SETボタンを押す
『ピー』と鳴ってセット完了です。
"Gw"が点滅して「グロー時間表示」に戻ります。

8 再度SETボタンを押すと"EST"を表示となり「エンジンスターター設定モード」に戻る
続けて他の設定を行う場合は、MODEボタンを2秒以上押してから△▽ボタンで選択します。



9 エンジンキーをOFFにする

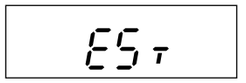
エンジンスターター始動検出モードの設定
(設定には専門知識が必要です)

エンジン始動の検出方法を選択できます。初期設定では「Au(オートモード)」に設定されていますので、リモコン始動などで問題がない場合は、設定を変更しないでください。設定を変更すると、始動の確認ができずにエンジンが停止してしまう場合があります。

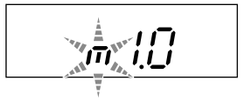
※工場出荷時はAu(オートモード)に設定されています。

1 エンジンキーをACCにする

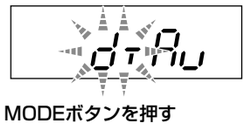
2 △▽ボタンを押して、"EST"を表示させる
「エンジンスターター設定モード」になります。



3 MODEボタンを、2秒以上押す
"m"が点滅し、「セル時間表示」になります。



4 ▽ボタンを3回押す
"dt"が点滅し現在の始動検出モードが表示されます。



5 MODEボタンを押す
設定モードが点滅します。

6 △▽ボタンを押して、始動検出モードを設定する
Au(オートモード)
…自動でエンジン始動を検出します。
Uo(電圧検出モード)
…電圧の上昇でエンジン始動を検出します。
AL(オルタネータモード)
…オルタネータ線(L端子)の電圧上昇を検出して始動を検出します。オルタネータ線を接続しない場合は"AL"モードを選択しないでください。エンジン始動の確認ができなくなります。

7 SETボタンを押す
『ピー』と鳴ってセット完了です。
"dt"が点滅して「始動検出モード表示」に戻ります。

8 再度SETボタンを押すと"EST"を表示となり「エンジンスターター設定モード」に戻る
続けて他の設定を行う場合は、MODEボタンを2秒以上押してから△▽ボタンで選択します。

9 エンジンキーをOFFにする

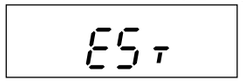
エンジンスターターIG設定
（設定には専門知識が必要です）

初期設定ではオートモードに設定されているため、特殊な場合（一部のホンダ車など）を除き、設定の必要はありません。
車側のIG検出不具合時に設定してください。

※工場出荷時はA（オートモード）に設定されています。

1 エンジンキーをACCにする

2 △▽ボタンを押して、“EST”を表示させる
「エンジンスターター設定モード」になります。



3 MODEボタンを、2秒以上押す
“m”が点滅し、「セル時間表示」になります。

4 ▽ボタンを4回押す
“IG”が点滅し、現在のIGモードが表示されます。

5 MODEボタンを押す
設定モードが点滅で表示されます。

6 △▽ボタンを押して、IGモードを設定する
A…IG1とIG2を検出対象にします。(オートモード)
1…IG1のみを検出対象にします。
2…IG2のみを検出対象にします。

7 SETボタンを押す
『ピー』と鳴ってセット完了です。
“IG”が点滅し「IG設定表示」に戻ります。

8 再度SETボタンを押すと“EST”表示となり「エンジンスターター設定モード」に戻る
続けて他の設定を行う場合は、MODEボタンを2秒以上押してから△▽ボタンで選択します。

9 エンジンキーをOFFにする

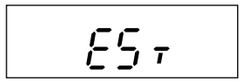
バックライトをON/OFFにする

以下の操作で車載通信ユニットのディスプレイのバックライトを点灯する（ON）/点灯しない（OFF）を設定できます。
バックライトONに設定すると（工場出荷時ON）エンジンスターター動作中、または走行中やエンジンキーがACCのときにバックライトが点灯します。また、キーをONからOFFにした後、エンジンスターター動作後（アイドリング/アフターアイドリング終了後）、1分間はバックライトが点灯します。

※工場出荷時はonに設定されています。

1 エンジンキーをACCにする

2 △▽ボタンを押して、“EST”を表示させる
「エンジンスターター設定モード」になります。



3 MODEボタンを、2秒以上押す
“m”が点滅し、「セル時間表示」になります。

4 △ボタンを2回押す
“Ld”が点滅し、現在の設定が表示されます。

5 MODEボタンを押す
“ON”または“OF”が点滅します。

6 △▽ボタンを押して、バックライトのON/OFFを設定する
“Ld on”…バックライトを点灯
“Ld oF”…バックライトを消灯

7 SETボタンを押す
『ピー』と鳴ってセット完了です。
“Ld”が点滅し、「バックライト表示」に戻ります。

8 再度SETボタンを押すと“EST”の表示となり、「エンジンスターター設定モード」に戻る
続けて他の設定を行う場合は、MODEボタンを2秒以上押してから△▽ボタンで選択します。

メモ

本機の動作とバックライトの色
バックライトの色は、動作内容によって決められており、これを変更することはできません。

緑色…バッテリー電圧表示、時計表示、各種設定、車内温度表示、走行時間表示
赤色…エンジンスターターアイドリングカウントダウン表示、ターボタイマーカウントダウン表示

9 エンジンキーをOFFにする

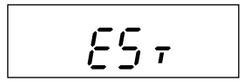
エンジンスターター特殊制御の設定
（設定には専門知識が必要です）

一部特殊な車輌においてエンジン始動判定の設定が必要となる場合がありますが、通常は設定の必要はありません。

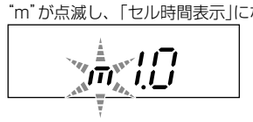
※工場出荷時はSYOに設定されています。

1 エンジンキーをACCにする

2 △▽ボタンを押して、“EST”を表示させる
「エンジンスターター設定モード」になります。



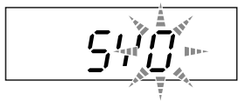
3 MODEボタンを、2秒以上押す
“m”が点滅し、「セル時間表示」になります。



4 △ボタンを1回押す
“SY”が点滅し現在の設定が表示されます。

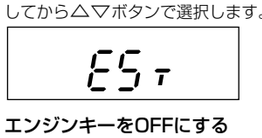
5 MODEボタンを押す
特殊制御の数値が点滅します。

6 △▽ボタンを押して、始動検出モードを設定する
SY0…通常設定　　SY2…特殊設定
SY1…特殊設定　　SY3…特殊設定



7 SETボタンを押す
『ピー』と鳴ってセット完了です。
“SY”が点滅して「特殊制御」に戻ります。

8 再度SETボタンを押すと“EST”を表示となり「エンジンスターター設定モード」に戻る
続けて他の設定を行う場合は、MODEボタンを2秒以上押してから△▽ボタンで選択します。



9 エンジンキーをOFFにする

※ 指定車以外で本設定をSYO以外に設定しないでください。指定車以外で本設定を変更すると車輌故障につながる恐れがあります。指定車について詳しくは、最寄の弊社サービス窓口またはエンジンスターター相談窓口（0564-45-6515）までお問い合わせください。

バッテリー交換や本機の付け替え時の再設定について

車のバッテリー交換や本機の付け替えなどで、バッテリーや車種別専用ハーネスを取りはずした場合は、再度、P・ポジション自動検出機能の確認が必要です。
車載通信ユニットの電源スイッチをONにしたときに、車載通信ユニットから『ピピピッ ピピピッ ピピピッ』という確認音が連続している場合は、以下の手順でP・ポジション自動検出機能の確認を行ってください。(P・ポジション自動検出の確認をしないと、本機は動作しません)

ご注意

エンジンスターターの設定(20〜23ページ)の設定内容を記憶しているため、取り付け車を変更した場合は再設定が必要です。

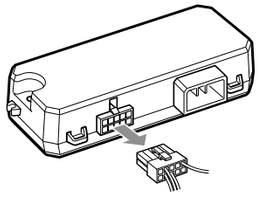
パーキング(P)・ポジション自動検出機能の確認

接続が終わっても、ジャンクションユニットを完全に固定する前に、バッテリーのマイナス端子をつないで、それぞれの接続が正しく行われていることを確認してください。

**本機はP・ポジション自動検出機能の確認をしないと、動作しません。
一部の車輌では、P・ポジション自動検出できないものや、できにくいものがあります。**

ご注意

パーキング(P)・ポジション自動検出機能の確認作業は、必ず、センサーハーネスを外した状態で行ってください。(ブレーキ検出線が接続された状態では、正しく検出できません)

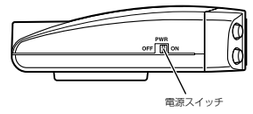


センサーハーネス

1 車載通信ユニットの電源スイッチをONにする

電源が入ると『ピー』と鳴り、約3秒後に接続の確認を開始します。確認が終了すると『ピピピッ ピピピッ ピピピッ』という確認音が連続して鳴りディスプレイに"IG on"と表示されます。車載通信ケーブルの接続に不具合があると、[E-999]と表示します。

※ 確認音が鳴らない場合は、専用ハーネスのアース線の接続場所を、確認音が鳴る場所に変更してください。



本機の接続の確認が終了すると、P・ポジション自動検出モードになります。
ディスプレイ表示指示にしたがって、シフトレバーを操作してください。

P・ポジション自動検出ができない場合は25ページをご覧ください。

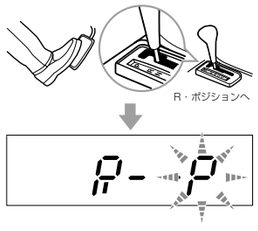
2 シフトレバーがパーキング(P)・ポジションになっていることを確認し、キーを差し込んで、OFF→ACC→ONと切り換える

車載通信ユニットから約3秒後に『ピピッ』という音が鳴りディスプレイに"P−−R"と表示されます。

3 ブレーキを踏んでシフトレバーをパーキング(P)・ポジションからリバース(R)・ポジションに切り換える

車載通信ユニットが約3秒後に『ピッ』と鳴り、"R−−P"と表示されます。
P・ポジション自動検出機能を使用できることが確認できました。

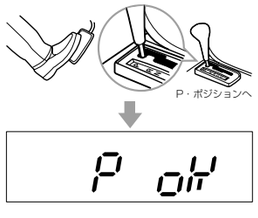
※ 何も音がしない場合は、P・ポジション自動検出機能は使用できません。シフトレバーをパーキング(P)・ポジションに戻し、キーを抜いて電源スイッチをOFFにし25ページをお読みください。



4 シフトレバーをパーキング(P)・ポジションに戻す

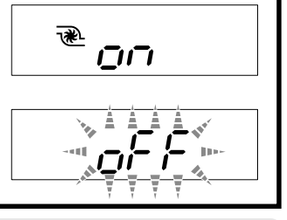
約2秒後に、ディスプレイに"P ok"と表示され、『ピー』と鳴ります。

※ 何も音がしない場合は、専用ハーネスの種類とアース線の接続場所を、再度確認してください。



以上でP・ポジション検出は終了です。続いてターボタイマー機能設定を行います。

- **ターボタイマーを使用する場合は、△ボタンを押し、SETボタンを押すことで設定完了です。**
  『ピー』と鳴って電圧表示になります。
- **ターボタイマーを使用しない場合は、そのままSETボタンを押してください。**
  『ピー』と鳴って電圧表示になります。



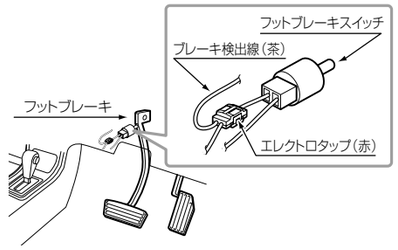
以上で初期設定は終了です。センサーハーネスを接続して必要に応じてエンジンスターター設定を行ってください。

P・ポジション自動検出機能が使用できない状態でターボタイマー機能を使用しない場合の接続・設定

フットブレーキスイッチ配線にブレーキ検出線(茶)を接続します

ブレーキペダルを踏んで12V、離して0Vまたはブレーキペダルを踏んで0V、離して12Vに電圧が変化することを確認してください

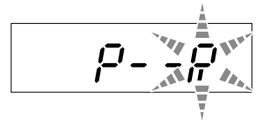
※接続先は、サーキットテスターで確認してください。



1 センサーハーネスを接続し、車載通信ユニットの電源スイッチをONにする

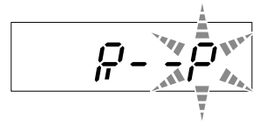
2 シフトレバーがパーキング(P)・ポジションになっていることを確認し、ブレーキペダルは踏まずにキーを差し込んで、OFF→ACC→ONと切り換える

車載通信ユニットのディスプレイに"P−−R"と表示されます。



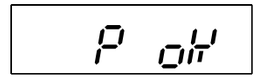
3 ブレーキペダルを踏む

車載通信ユニットが『ピッ』と鳴ります。ディスプレイに"R−−P"と表示されます。



4 ブレーキペダルから足を離す

車載通信ユニットが『ピー』と鳴ります。ディスプレイに"P ok"と表示されます。



以上でP・ポジション検出は終了です。途中でエラー表示が出た場合は車種別専用ハーネス、アース線の接続を確認してください。

- **ターボタイマーを使用しないので、そのままSETボタンを押してください。**

※フットブレーキスイッチの接続ではターボタイマー機能は使用できません。

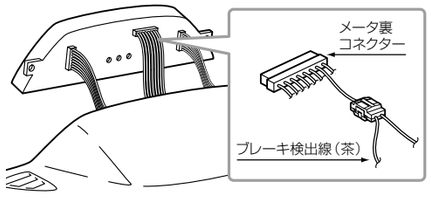
以上で初期設定は終了です。必要に応じてエンジンスターター設定を行ってください。

P・ポジション自動検出機能が使用できない状態でターボタイマー機能を使用する場合の接続・設定

P・ポジションインジケーターランプの配線にブレーキ検出線(茶)を接続します

シフトをパーキング(P)の位置にしたとき12V、シフトをパーキング(P)以外で0Vまたはシフトをシフトをパーキング(P)の位置にしたとき0V、シフトをパーキング(P)以外で12Vに電圧が変化することを確認してください。

※ 接続先は、サーキットテスターで確認してください。



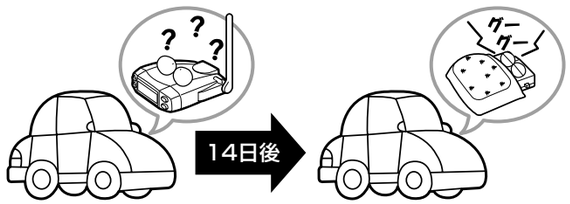
「P・ポジション自動検出機能の確認」(24ページ)に戻ってP・ポジション検出を行ってください。

メモ

接続場所について詳しくは、弊社FAX情報サービスでご確認ください。

スリープ機能について

車を使用しない状態が14日間以上続くと、バッテリーの消耗を抑えるスリープ機能が働きます。
スリープ機能が働くと、本機によるエンジン始動はできません。
スリープ機能を解除するときは、1度キーを使ってエンジンを始動させてください。



本機を長期間使用しないときは、車載通信ユニットの電源スイッチを「OFF」にしておきます。

バッテリーについて

車のバッテリーの性能が低下しているときは、キーで始動させる場合に比べ、リモコンでのエンジン始動ができにくくなります。このようなときはバッテリーを充電するか、新しいものと交換してください。

メモ

- 寒冷地では、オルタネータ線を接続し、バッテリーも大型のものに交換することをおすすめします。
- 車のバッテリー交換を行った場合は再度P・ポジション自動検出機能の確認(24ページ)必要です。

安全機能について

本機には、次の安全機能があります。

■ P・ポジション自動検出

シフトレバーがパーキング(P)またはニュートラル(N)ポジション以外のときは、エンジンの始動やターボタイマー機能の動作はできません。また、リモコンによる始動後、キーを差し込んだ状態で(ONポジションにキーを回さないまま)シフトチェンジすると、エンジンが停止します。

※ 一部の車輌では、P・ポジション自動検出のできないものや、できにくいものがあります。このような場合には、フットブレーキまたはP・ポジションインジケーターランプへの接続が必要です。接続しないと、本機は動作しません。
フットブレーキに接続した場合は、フットブレーキを踏むとエンジンが停止します。またP・ポジションインジケーターランプに接続した場合には、シフトレバーがパーキング(P)の位置以外ではエンジンを始動できません。

■コンライトキャンセル機能
(別売のA-60を使用してコンライト信号線に接続した場合のみ)

オートライト機能搭載車でオートライト設定中でも、アイドリング終了後にライトを消灯させ、バッテリー上がりを防ぐことができます。

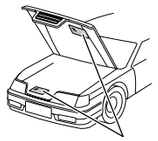
※ 一部の車輌において、コンライトキャンセル機能が正常に働かない場合があります。

■ドア検出
(別売のA-60使用してドアスイッチに接続した場合のみ)

エンジンスターター動作中ドアを開くとエンジンが停止します。
(アフターアイドリング中は機能しません)
また、ドアが開いた状態でドアロック操作をした場合、エラー信号が鳴り、ドアが開いていることをお知らせします。

⚠警 告

- 整備や車検などで、エンジン部を作業中に、突然エンジンが始動すると大変危険です。万一の事故を防ぐためにも、第三者に車を預けるときは、車載通信ユニットの電源スイッチを必ず「OFF」にしてください。
- 本機の取り付け後、安全のため、付属のステッカーを貼り付ける必要があります。「ご注意ステッカー(大)」は、エンジンルームを開けたときに、第三者にもわかるような目立つ場所に、「ご注意ステッカー(小)」はボンネットオープナーやその付近の目立つ場所に貼り付けられていることを確認してください。



ご注意ステッカー (大)

ご注意ステッカー (小)

こんなときは

次ページに続く

エンジン始動関係

Q
リモコン操作でエンジンの始動や停止ができない。(送信マークが点灯する場合)

A
リモコンでのエンジンスタートができない場合は、以下の事項についてご確認ください。

受信マークが点灯しない
- キーでエンジンを始動していませんか？
- 電池が消耗していませんか？
- 車載通信ユニットの電源スイッチが「OFF」になっていませんか？　電源スイッチを「ON」にしてください。
- スリープ機能が働いていませんか？(26ページ参照)
- 車と離れすぎていませんか？
- パーキング(P)・ポジション自動検出ができていますか？(24ページ参照)
- それぞれのコネクターがメインユニットにしっかり接続されていますか？

受信マークは点灯する
- シフトレバーがパーキング(P)になっていますか？
- キーでエンジンを始動していませんか？
- 車のバッテリーが弱っていませんか？
- キー操作でエンジンが始動しますか？
- 車載通信ユニットが正しく設定されていますか？(16ページ工場出荷時の設定参照)
- それぞれのコネクターがジャンクションユニットにしっかり接続されていますか？

Q
気候が寒くなってきたら、エンジンがかからなくなった。

A
気温が低いと、エンジン自体のかかりが悪いため、セル時間を少しながめに設定してみましょう。(20ページ参照)

Q
エンジンはかかるがすぐ停止してしまう。

A
エンジンの始動検出ができていないためです。
始動検出モードの設定はオートモードになっていますか？(21ページ参照)
オートモードの設定で症状の改善がない場合は、オルタネータ線を接続してください。

Q
車載通信ユニットを操作していたら、エンジンがかからなくなってしまった。

A
エンジンスターターの設定が変更されてしまった可能性があります。取り付け販売店にご相談ください。(20〜22ページ参照)

リモコン操作関係

Q
リモコンの液晶が表示されない。

A
- 電池が消耗していませんか？
- 電池が正しく入っていますか？電池の装着を誤った場合は、ショート状態により電池が消耗している可能性がありますので、新しい電池をご使用ください。
気温が0℃以下になると液晶表示が薄くなったり、表示されないことがありますが、エンジンの始動停止等リモコン操作上は問題ありません。

Q
リモコン操作できる距離が短い。

A
- リモコンのアンテナを伸ばさずに操作を行っていませんか？
- 車載通信ユニットのアンテナの近くに金属(ピラー)などがあると、通信距離が短くなります。金属部より5cm以上離れた場所に取り付けてください。
- リモコンのアンテナに手を触れていませんか？
- 車載通信ユニット(車)とリモコンの間に、障害物がありませんか？
- チェーンやカギ、金属性アクセサリーなどにより通信エラーを発生する場合があります。

Q
受信マークが点灯しない。

A
周囲の電波状況によっては、車載通信ユニットの電波がリモコンに届かない場合があります。

ドアロック機能関係

Q
ドアロック、アンロックが動作しない。
(別売のキーレスエントリー：A-17SFの接続をしている場合)

A
車によってはキーを使用してドアをロックした場合は、ドアをアンロック(解錠)できない場合があります。また、エンジンがかかっている状態でドアのロック、アンロックができない場合があります。

ターボタイマー機能関係

Q
ターボタイマーが働かない。

A
ターボタイマー機能はP・ポジション自動検出ができた場合、またはP・ポジションインジケーターランプにブレーキ線を接続している場合で車載通信ユニットのターボタイマー機能をONに設定しているときに使用できます。また、ターボタイマーの機能は、シフトレバーがパーキング(P)にセットされた時点から開始されますので、シフトレバーをパーキング(P)に入れる前に車のエンジンを切ったり、パーキング(P)のままアフターアイドリング時間が経過すると、ターボタイマー機能は動作しません。

こんなときは

ターボタイマー機能関係

Q

アフターアイドリング時間が短い。

A

ターボタイマーのカウントダウンは、シフトレバーがパーキング(P)に入った時点から開始されますが、車載通信ユニットのターボタイマーカウントダウン表示はキーOFFで表示されます。(19ページ参照)

その他

Q

付属のブレーキ検出線、オルタネータ線は接続するの？

A

ブレーキ検出線は、P・ポジション自動検出ができた車には接続する必要はありません。(P・ポジション自動検出ができた車に接続すると、誤動作する場合があります)また、オルタネータ線は始動検出ができる場合は特に必要ありませんが、冬場など、寒い季節になると始動検出ができにくくなる車があります。

Q

車を使用する頻度が少なく、バッテリー上がりが心配。

A

14日以上、車の利用がないと、スリープ機能によってエンジンスターターの電流消費を抑えます。
スリープ機能が働くと、リモコンでの操作ができません。エンジンキーをACCにすると解除されます。

エラー表示について

車載通信ユニットのディスプレイに、次のようなエラーメッセージが表示されたときにはその処置方法に従って操作してください。その他の処置方法が明記されていないエラーにつきましては、弊社サービス窓口またはエンジンスターター相談窓口にご相談ください。

※ エラー表示確認後、MODEボタンを押すと通常表示に戻ります。

■エンジンスターター起動エラー

E000	リレー溶着検出	エンジンスターター故障と思われます。サービス窓口にご相談ください。
E001	P・ポジション検出不良	シフトレバーがパーキング(P)またはニュートラル(N)の位置にないか、検出ができない。再度、シフトレバーをパーキング(P)またはニュートラル(N)の位置に入れ直してください。
E002	ブレーキ検出	ブレーキ検出線接続時、ブレーキがかかっている状態にあります。ブレーキ配線を見直してください。
E004	ドア検出	ドア検出線接続時、ドアが開いている状態にあります。ドアを閉めてください。
E005	電圧検出	バッテリー電圧が7V以下または18V以上の異常状態にあります。
E006	オルタネータ検出異常	オルタネータ線の出力が異常です。接続先をご確認ください。
E008	エンスト判定	エンストにより、エンジンが停止しました。
E009	起動失敗	始動検出ができませんでした。始動検出モードの設定をご確認ください。(21ページ参照)

■ターボタイマー作動エラー

E011	リレー溶着検出	エンジンスターター故障と思われます。サービス窓口にご相談ください。

■ドアロック/アンロック作動エラー (別売のキーレスエントリー：A-17SFを接続した場合)

E015	ドア検出	ドア検出線接続時、ドアが開いている状態にあります。ドアを閉めてください。

仕 様

■リモコン

適合技術基準	特定小電力無線局テレコントロール用無線設備 (RCR STD-16)
送信周波数	429.2375MHz
電波型式	F2D
送信出力	10mW
送信時間制御	送信時間：3秒以内 送信休止時間：2秒以上
使用電池	リチウム電池 CR2032×2
動作温度範囲	−10℃～+50℃
寸法	32.5(W)×78.0(H)×18.3(D)mm(突起部含まず)
重量	40.7g(電池含む)

※気温が0℃以下になると液晶表示が薄くなったり、表示されないことがありますが、エンジンの始動停止等リモコン操作上は問題ありません。

■車載通信ユニット/ジャンクションユニット

適合技術基準	特定小電力無線局テレコント ロール用無線設備 (RCR STD-16)
送信周波数	429.2375MHz
電波型式	F2D
送信出力	10mW
送信時間制御	送信時間：3秒以内 送信休止時間：2秒以上
電源電圧 (ジャンクションユニット)	12V車専用(DC9～16V)
消費電流	スリープ時：約7mA 待機時：約16mA(平均)
動作温度範囲	−20℃～+80℃
寸法	車載通信ユニット ：68(W)×25(H)×90(D)mm (突起部およびアンテナ部含まず) ジャンクションユニット ：138(W)×28(H)×63(D)mm
重量	車載通信ユニット：78g ジャンクションユニット：126g

アフターサービスについて

■保証書(裏表紙参照)

保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ年月日」などの記入をご確認のうえ、保証内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

■保証期間

お買い上げの日から3年間です。

●対象部分

車載ユニット(リモコンは1年、電池等消耗部品を除く)が対象となります。

■修理を依頼されるとき

「こんなときは」の点検をしていただいても、なお異常のあるときは、故障状況をなるべく詳しくご連絡ください。

●保証期間中のとき

恐れ入りますが、お買い上げの販売店に、保証書を添えて製品をご持参ください。保証書の規定に従って修理いたします。

●保証期間が過ぎているとき

取り付け販売店に、まずご相談ください。修理によって機能が持続できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

■アフターサービスなどについてご不明な点は

お買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部(下記の一覧表をご参照願います)にお問い合わせください。

■リモコンを紛失や破損したとき

リモコンを紛失や破損したときは、追加リモコンをお買い求めください。詳しくは、お買い上げの販売店、または弊社営業所・サービス部にお問い合わせください。

「取り付け・接続説明書」や本書にしたがった、正常な取り付け・接続、使用状態で製品に故障が生じた場合は、製品の保証書にしたがって修理いたします。
また、本機取り付けによる車輌や車載品の故障、事故などの付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

ユピテルご相談窓口一覧

ご相談の受付時間は、月曜日～金曜日９：００～１７：３０です。
ただし土曜日、日曜日、祝祭日、振替休日および年末・年始等は受け付けいたしておりません。お問い合わせの際は、製品の機種名をご確認のうえ、使用状況もいっしょにご相談ください。

お客様ご相談センター　　TEL. (0564)45-6515

地　区	名称・電話番号・所在地
北海道	札幌営業所・サービス部　TEL. (011)618-7071 〒060-0008 北海道札幌市中央区北八条西18丁目35-100 エアリービル1F
青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島	仙台営業所・サービス部　TEL. (022)284-2501 〒984-0015 宮城県仙台市若林区卸町4-8-6 第2喜和ビル1F
栃木・群馬・茨城・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨・長野・新潟・静岡(西部の一部地区を除く)	東京営業所・サービス部　TEL. (03)3769-2525 〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33 芝浦新本ビル3F
岐阜・愛知・三重・富山・石川・福井・静岡(西部の一部地区)	名古屋営業所・サービス部　TEL. (052)461-1281 〒453-0053 愛知県名古屋市中村区中村町6-5
滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・徳島・香川・愛媛・高知	大阪営業所・サービス部　TEL. (06)6386-2555 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町53-10
鳥取・島根・岡山・広島・山口	広島営業所・サービス部　TEL. (082)230-1711 〒733-0001 広島県広島市西区大芝2-9-2
福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄	福岡営業所・サービス部　TEL. (092)552-5351 〒815-0032 福岡県福岡市南区塩原3-2-19

●上記窓口の名称、電話番号、所在地は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
●電話をおかけになる際は、市外番号などをお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。

※お車の買い替えなどで、車種別専用ハーネスを検索する場合や追加オプションに関する最新情報は、弊社ホームページまたは車種別専用ハーネス適応表でお確かめください。

- **弊社HPアドレス**　http://www.yupiteru.co.jp/
- **i-mode専用サイト**　http://www.yupiteru.co.jp/i/

＜無料修理規定＞

1. 表面記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、機器本体および本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
3. ご転居ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、最寄りの弊社営業所・サービス部へご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   (イ)使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障および損傷
   (ロ)お買い上げ後の移動、落下等による故障及び損傷
   (ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障及び損傷
   (ニ)特殊な条件下等、通常以外の使用による故障および損傷
   (ホ)故障の原因が本製品以外にある場合
   (ヘ)本書のご提示がない場合
   (ト)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
   (チ)付属品や消耗品等の消耗による交換
   (リ)お客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金
5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
6. 本書は再発行しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

故障内容記入欄

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、最寄りの弊社営業所・サービス部にお問い合わせください。
※弊社営業所・サービス部は本書30ページをご覧ください。

保 証 書

（持込修理）

本書は、本書記載内容（裏面記載）で、無料修理を行うことを、お約束するものです。
保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品　番	VE-E330R（テレコントロールエンジンスターター）
S/No.	

無効

お買い上げ		年　月　日
保　証　期　間		お買い上げ[illegible]日より3年 [illegible]ット(リモ[illegible]は1年。[illegible]耗部品は除く)
お客様	お名前	[illegible]様
	ご住所	〒 TEL.(　　)
販売店	店名・住所	上欄に記入または捺印の無い場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名等を証明するものを、お貼りください。

ユピテル工業株式会社
〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33

6SS0643